

報道関係各位

平成28年3月28日
株式会社 クロス・マーケティング

日本酒ブーム継続中か 日本酒の飲用率は全体の約6割

今は飲んでいなくても、 今後日本酒を飲んでみたい20代女性は約4割

<飲酒・日本酒に関する調査>

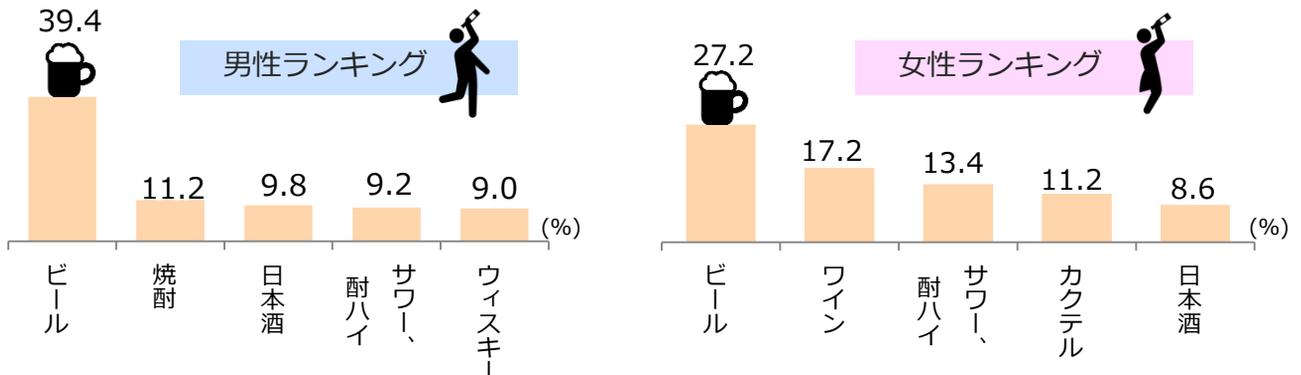
株式会社クロス・マーケティング(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:五十嵐 幹)は、一都三県(東京・神奈川・千葉・埼玉)に在住する20歳~69歳の男女を対象に「飲酒・日本酒に関する調査」を実施しました。

◆自主調査レポートの続きはこちらへ⇒<http://www.cross-m.co.jp/report/sk20160328/>

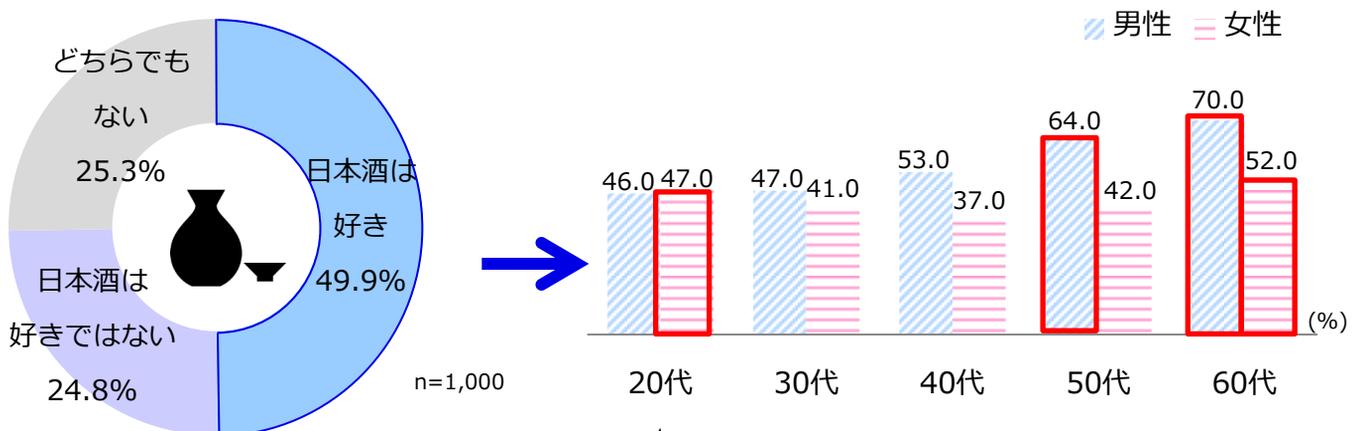
■調査結果 (一部抜粋)

- ✓ 男女別に見た最も好きなお酒では、男性が39.4%、女性が27.2%でそれぞれ【ビール】がトップとなった。男性は【焼酎】(11.2%)、【日本酒】(9.8%)と続き、女性は【ワイン】(17.2%)、【サワー、酎ハイ】(13.4%)と続き、ビール以下の好みに分かれる結果に <図1>
- ✓ 日本酒の好意度では【日本酒は好き】が49.9%で最も高く、全体のほぼ半数が日本酒好きと判明。次いで、【どちらでもない】が25.3%、【日本酒は好きではない】が24.8%となった。また、【日本酒は好き】と回答した人を性年代別に見ると、男性が70.0%、女性が52.0%で、男女ともに60代が日本酒好きが最も多い年代であることがわかった。次いで、男性は50代が64.0%、女性は20代が47.0%で多い <図2>
- ✓ 日本酒の飲用率では、【日本酒を飲む】が56.8%、【日本酒は飲まない】が43.2%でやや日本酒飲用者の方が多い。【日本酒は飲まない】と回答した人のうち、今後の飲用意向の有無では、【飲んでみたいと思わない】が40.3%でもっと高く、【どちらとも言えない】が36.1%、【飲んでみたいと思う】は23.6%となった。しかし、【飲んでみたいと思う】と回答した人を性年代別にみると、20代女性の【飲んでみたいと思う】割合が40.4%と高く、若い女性が日本酒に興味を持っていることがうかがえる <図3>

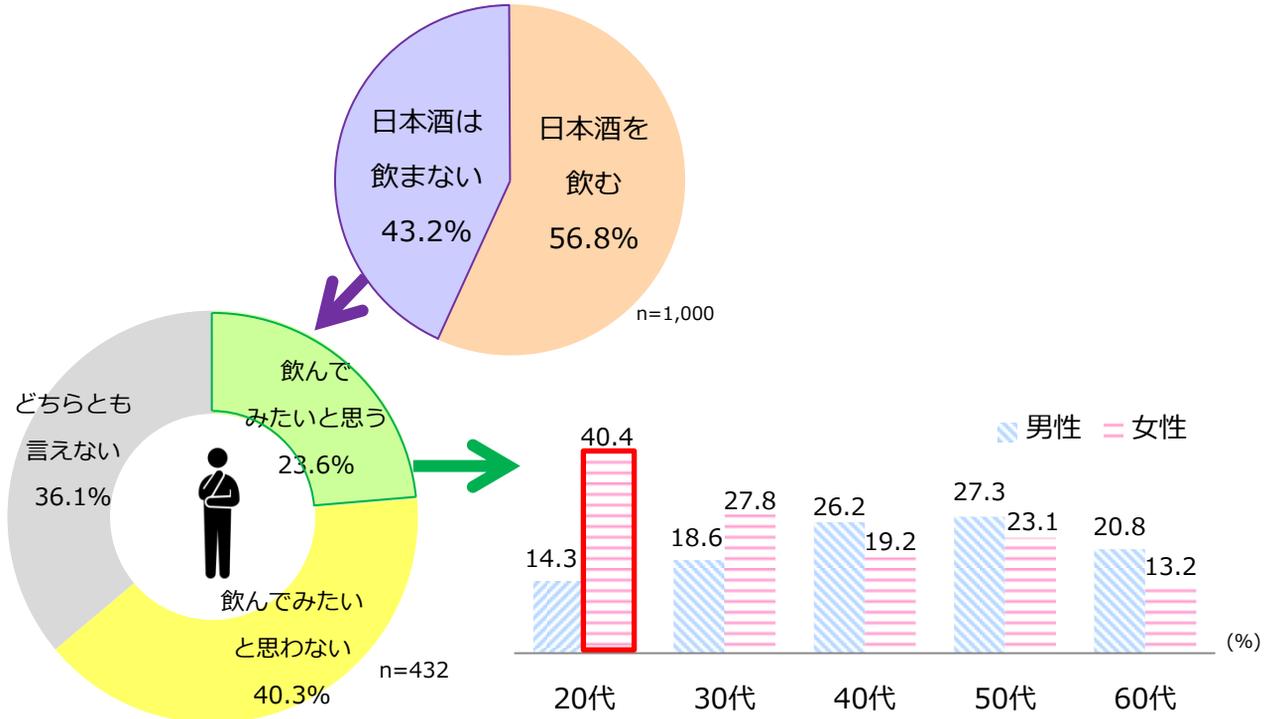
<図1> 男女別 最も好きなお酒



<図2> 日本酒の好意度／性年代別 日本酒好きの割合



<図3> 日本酒の飲用率／性年代別 今後の日本酒の飲用意向



■ 調査内容

- 属性設問 (性別・年齢・居住地・婚姻状況・子の有無・同居者・職業・勤務形態)
- よく飲むお酒 (MA)
- 最も好きなお酒 (SA)
- 飲酒量の増減
- 飲酒に関するエピソード (FA)
- 日本酒の飲用率 (SA)
- 日本酒の好意度 (SA)
- 日本酒飲用の頻度 (SA)
- 日本酒飲用の理由 (MA)
- 日本酒飲用のシーン (MA)
- 日本酒飲用歴 (SA)
- 日本酒飲用のきっかけ (SA)
- 日本酒飲用時の食事 (MA)
- 日本酒の選択基準 (MA)
- 好きな日本酒の種類 (SA)
- 日本酒のイメージ (MA)
- 日本酒の非飲用理由 (MA)
- 今後の日本酒の飲用意向 (SA)

■ 調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング アンケートモニター使用)
 調査地域 : 一都三県 (東京・神奈川・千葉・埼玉)
 調査対象 : 20～69歳の男女、普段飲酒をする人
 調査期間 : 2016年3月19日(土)～3月21日(月)
 有効回答数 : 1,000サンプル

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業

◆ 本件に関する報道関係からのお問い合わせ先 ◆

広報担当: 東海林(しょうじ) TEL : 03-6859-2252 FAX : 03-6859-2275
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

≪引用・転載時のクレジット表記のお願い≫

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。
 <例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」